クローズアップ 日・光・人

日光市で活躍している人、 サークルを紹介します。

人

山越（やまこし） 正朗（まさお） さん

子どものころから、デザインを考え、物を作ることが大好きですね

藤原　在住

平成17、18年度と2年連続で、応募した商品が栃木県優良デザイン商品に選ばれた山越正朗さんを紹介します。

栃木県優良デザイン商品の選定は、県の主催により毎年実施されています。県内の中小企業や個人事業者が応募した商品の中から、デザインの優れたものが選ばれます。そしてさらに、デザインの特に優れたものが、とちぎデザイン大賞として表彰されます。

山越さんは木工業を営むかたわら、商品開発に力を注いでいます。平成17年度には、デザイン下駄とオリジナルスピーカーシステムを出品。どちらも栃木県優良デザイン商品に選ばれ、さらに、デザイン下駄がとちぎデザイン大賞の最優秀賞に輝きました。山越さんはデザイン下駄について、「成形合板という技術（木材を曲げる技術）を使い、曲線を描いたデザインの下駄です。私の住む鬼怒川温泉を訪れた観光客に履いていただき、名産品の一つになってほしいと願って制作しました。最優秀賞と知った時、はじめは信じられませんでした。でも、プロのデザイナーも務める審査委員会の委員に評価していただけたのが非常にうれしかったです」と話してくれました。

平成18年度には、木製トランクが栃木県優良デザイン商品に選ばれました。「この商品は、成形合板を随所に用いています。女性がノートパソコンを持ち歩けるような、おしゃれな収納トランクがあればいいなと思い、製作しました」。

今年度も栃木県優良デザイン商品に応募する山越さん。「今は、デザインのラフスケッチをしているところです。商品にできるかどうかを吟味し、試作を繰り返しながら応募する商品を絞り込んでいきます」と話してくれました。

山越さんに新たな商品を生み出す原動力になっているものを聞くと、「やはり、物作りが大好きなんだという気持ちじゃないでしょうか」とのこと。これからも、こだわりの逸品を作り続けてください！

手がけた商品を前にして。左から、オリジナルスピーカーシステム、デザイン下駄、木製トランク

サークル

児童文学創作の会 こもれび

杉並木からこぼれる光のように、温かい作品を子どもたちに届けます

高橋先生（右端）と会員の皆さん

児童文学創作の会こもれびは、今市図書館で開催された「はじめての童話・児童文学創作講座」の受講者たちが、講座終了後も活動を続けようと平成16年に結成されました。こもれびの名称は、「杉並木からこぼれる光のように、温かい作品を子どもたちに届けよう」との願いから付けられています。会員は現在7名で、顧問の高橋秀雄先生を含め8名で活動しています。

平成17年からは毎年1冊ずつ同人誌を発行しており、今年度も制作中です。多くの子どもたちに読んでもらおうと、市内の各小学校にも寄贈しています。

会員の方に創作の楽しさを聞くと、「最初は作文用紙2・3枚書くのも難しかったけど、徐々にたくさん書けるようになりました。一つでもいい文章が出てくると本当にうれしいです。また、家族から作品の感想を聞いたり、ヒントをもらったり、コミュニケーションにも役立っています」と笑顔で話してくれました。

高橋先生は、「作品は、自分のことや自分の経験を題材に書くことで独自性が出てきます。恥ずかしがらずに、自分をさらけ出すことが大切です。また、作品を通じて、いろいろな子どもたちの個性を認め、生き方をみんなに理解してもらえればと思っています」と語ってくれました。

「今後の目標は、これからも毎年1冊ずつ同人誌を作り続けること」と謙虚に話してくれましたが、高橋先生は「みんなにも、ぜひ1冊は自分の本を作ってもらいたい」と会員の方たちを激励していました。

子どもたちの心を豊かにする、温かい作品をこれからも作り続けてください。

これまでに発行した同人誌、創刊号と第2号

活動データ

活動日　毎月第3土曜日
活動拠点　今市図書館
活動内容　児童文学の創作と発表など
顧　問　高橋（たかはし） 秀雄（ひでお）
代　表　阿久津（あくつ） 稔（みのる）
問い合わせ先
今市図書館
☎(22)6216

紹介したい人、サークルを募集します

クローズアップ日・光・人では、日光市で活躍している人、サークルを紹介していきます。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。

※広報にっこうの掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びくわしくは
秘書広報課　広報広聴係
☎(21)5135